

A close-up photograph of a person's hand pointing at a perforated metal surface, likely part of an LED display installation. The background is a dark blue gradient.

導入後の失敗リスクを避ける

LEDディスプレイ納入前に 押さえておきたい3つのポイント

【1章】 LEDディスプレイ納入後に失敗するケース

- ケース1 環境にあったLEDディスプレイでないことによる不具合
- ケース2 システム構成、コンテンツに誤認識等があったことによる不具合
- 失敗するケースに共通する原因

【2章】 LEDディスプレイ納入前に押さえておきたい3つのポイント

- ポイント1 事前のコミュニケーションが最重要！設置環境や表示について認識を共有
- ポイント2 設置環境に合わせたLEDディスプレイ選び
- ポイント3 意図した表示をさせるためのシステム構成・コンテンツ

【3章】 LEDディスプレイや周辺機器に精通しトータルサポート可能なパートナー

- 製品だけでなく総合的な提案力に定評のあるヒビノのLEDディスプレイ
- ヒビノの保守は柔軟な対応が可能！

1 LEDディスプレイ納入後に 失敗するケース



ケース1 環境にあったLEDディスプレイでないことによる不具合

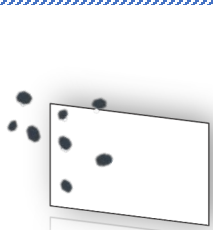
LEDディスプレイ納入後にある失敗ケースとして、設置環境に適していないことによるトラブル・不具合が挙げられます。

ごみや埃、雨風、塩害などの想定が不足しており、製品の寿命を著しく短くしてしまったり、映像表示の品質が低下してしまったりするケースは少なくありません。また、輝度不足やピッチ幅のミスマッチなどにより、映像が不鮮明となり、見て欲しい人に映像を訴求できないといったケースもあります。

故障に関するトラブル

システム構築に関するトラブル

ごみや埃による故障



異物がディスプレイに入ることで映像の品質低下につながる恐れがある。

雨漏れなどによる故障



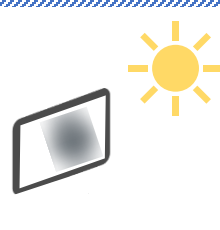
雨漏れなどによる故障により、映像の品質低下につながる恐れがある。

錆びなどによる故障



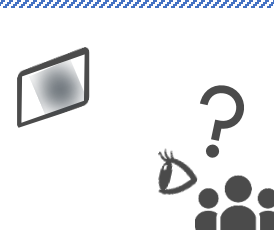
ディスプレイの外部や内部が錆びることにより故障する恐れがある。

輝度不足によるトラブル



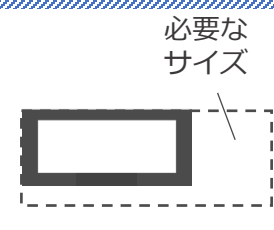
輝度が不足しており、外光に負けて、映像が見えにくいなど。

視認距離の確認不足によるトラブル



視認距離に対して最適なピッチ幅の製品でないため、映像が不鮮明になっているなど。

サイズ確認不足によるトラブル



事前打ち合わせが不足し、必要なサイズを満たせないなどのトラブル。

ケース2 システム構成、コンテンツに誤認識等があったことによる不具合

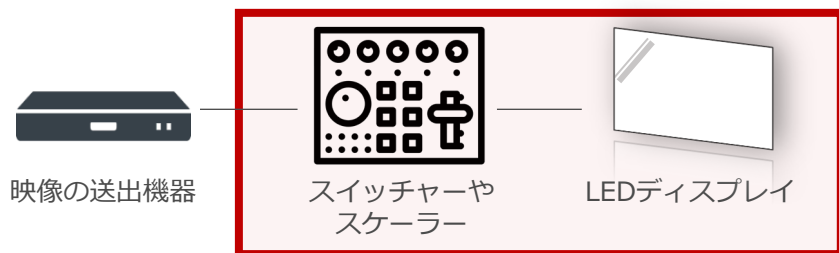
LEDディスプレイに映像や画像などのコンテンツを表示するにあたり、全体のシステム構成やコンテンツのレギュレーションについて十分なコミュニケーションがとれていないことによる不具合も少なくありません。

コンテンツ（映像や画像）をLEDディスプレイで表示させるまでに、スイッチャーやスケーラーを挟むかといったシステム構成や、コンテンツのアスペクト比をはじめとしたレギュレーションを十分に確認しておかなければ、意図した映像を表示することはできません。

システム・構成に関するトラブル

システム構成などに関する誤認識や共有不足

送出機器からディスプレイまでの機器に合わせて調整しなければ、意図した映像がでない。

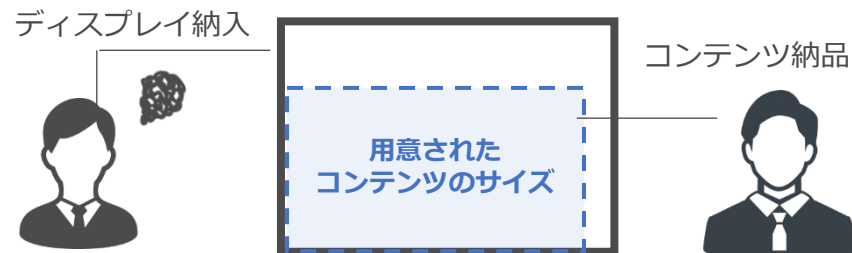


映像の送出機器とLEDディスプレイの間にスイッチャーや、スケーラーが入っており、意図した通りの画像が出ない場合や、解像度、カラースペースなどが変わってしまうケースがある。

システム構成についても十分な共有が必要となる。

コンテンツに関するトラブル

コンテンツのレギュレーションに関する誤認識



LEDディスプレイは、16：9などのアスペクト比や形状にとられることなく構築可能。そのため、LEDディスプレイへ表示するコンテンツの作成仕様についてクリエイターとのコミュニケーションが不足していると、ディスプレイとコンテンツとでサイズのミスマッチが発生する。

失敗するケースに共通する原因

前項までに触れたような失敗・トラブルとなってしまうケースに共通している問題は、**事前準備段階で、顧客と納入者との間で行うべき認識のすり合わせやコミュニケーションが十分でない**ことにあります。

事前に綿密なコミュニケーションを行うことで、アウトプットの認識のズレをなくすることができるだけでなく、映したいコンテンツの意図や雰囲気に合わせて色味の調整などを早い段階から実施できます。次章ではLEDディスプレイ納入前に押さえておくべき主なポイントについて解説します。

LEDディスプレイ納入・運用までの主なステップ

| | | |
|-------------|--------------|-----------------------|
| 事前準備 | 導入目的の明確化 | LEDディスプレイ活用の目的を明確化 |
| | 設置環境・現地調査 | LEDディスプレイの設置環境を確認 |
| | 詳細仕様の決定 | 周辺機器を含めてどのような表現をするか確認 |
| LEDディスプレイ準備 | LEDディスプレイの発注 | 仕様に合わせた機器の発注 |
| | 筐体設計・システム設計 | 各種設計や構造計算の実施 |
| | 部品手配 | 要望に合わせた専門部品などの製造 |
| | 組立・調整・設備工事 | LEDディスプレイの組立・設置 |
| 納入・運用開始 | 検査・運用開始 | 検査・運用開始 |

事前準備が最も重要。確認すべき点をおさえておかなければ、顧客の導入目的を達成できない納入になってしまう。

2 LEDディスプレイ納入前に 押さえておきたい3つのポイント



ポイント1 事前のコミュニケーションが最重要！設置環境や表示について認識を共有

LEDディスプレイを提案・納入する際には、事前準備段階におけるコミュニケーションが必要です。中でも、「**導入目的を明確にすること**」は**非常に重要**となります。

誰にどのような訴求をしたいかという点が、LEDディスプレイをはじめとした機器選びの参考（基準）にもつながるため、目的が明確になっていないまたは共有できていないと、顧客の目的を達成できない納入をしてしまうかもしれません。

導入の目的を明確にした上で、その後のステップに進むことが重要



導入目的の明確化

導入目的が広告なのか、情報伝達なのか、空間演出なのかなどを確認する。

また、どのような表現を見ている人に訴求したいかなどのすり合わせを行う。



現地調査 (設置環境調査)

屋外か屋内か、また設置場所の耐荷重やLEDディスプレイを支える箇所の耐久性について確認する。



詳細仕様の決定

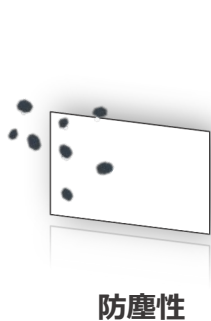
目的や環境に合わせたLEDディスプレイや音響機器、その他の周辺機器の仕様や、映像の表示方法について確認する。

ポイント2 設置環境に合わせたLEDディスプレイ選び

LEDディスプレイの設置する環境への現地調査を通して、**防塵性や防水性、耐久性がどの程度求められるか**を把握し、製品を選定することで、安定的に映像を表示できるようになります。

また、用途や映像を見せたい人とLEDディスプレイとの距離によって、ピッチ幅や大きさも変わってくるため、事前打ち合わせおよび現地調査を通じて、明らかにしておくことが重要です。

事前打ち合わせおよび現地調査で留意しておきたい主なポイント



用途に合わせた
ピッチ幅や大きさの設定



設置する環境に合わせて選定

特に屋外に設置する場合には、上記のような「防塵性」、「防水性」、「塩害対策の有無や耐久性」などがどこまで必要かを十分に考慮する必要がある。

用途や視認距離に合わせて選定

空間演出などで高精細な映像が必要なら、ピッチ幅が小さいものが必要となる。離れたところから見られる前提であれば、ピッチ幅は視認距離に合わせたものとして、輝度を高めにするなどの選定が必要となる。

ポイント3 意図した表示をさせるためのシステム構成・コンテンツ

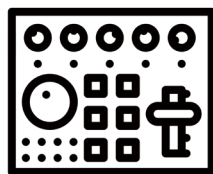
LEDディスプレイに意図した映像を表示させるためには、LEDディスプレイに入力する全てのシステムについて事前に綿密な打ち合わせを行うことが必要となります。

送出機器やスイッチャーをはじめとした映像関係の機器や、表示されるコンテンツの仕様、また、外的要因と連動して表示させる映像を変える場合などは、それに関するシステムについても事前の打ち合わせが重要です。

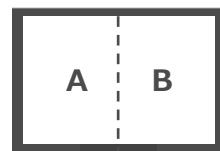
システム構成およびコンテンツについて留意しておきたい主なポイント



映像の送出機器は
何を利用するか？



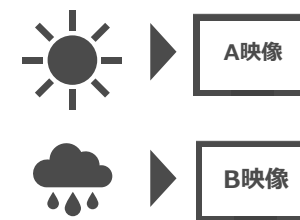
スイッチャーや
スケーラーなど周辺機器を
利用するか？



画面分割が必要な
コンテンツがあるか？



コンテンツの仕様は
共有できているか？



他の何かと連動した
映像表示が必要か？

システム構成・コンテンツ仕様にあった設定

映像に関わる機器とLEDディスプレイによっては、**色味などをLEDディスプレイ側で調整しなければ、意図した映像にならない**こともあるため、システム構成全体を把握し、打ち合わせを行うことが重要。

また、**天気などと連動して表示させる映像を変えるような演出を行う場合、情報提供会社とのシステム連携も十分に考慮する必要がある。**

**3 LEDディスプレイや周辺機器に精通し
トータルサポート可能なパートナー**



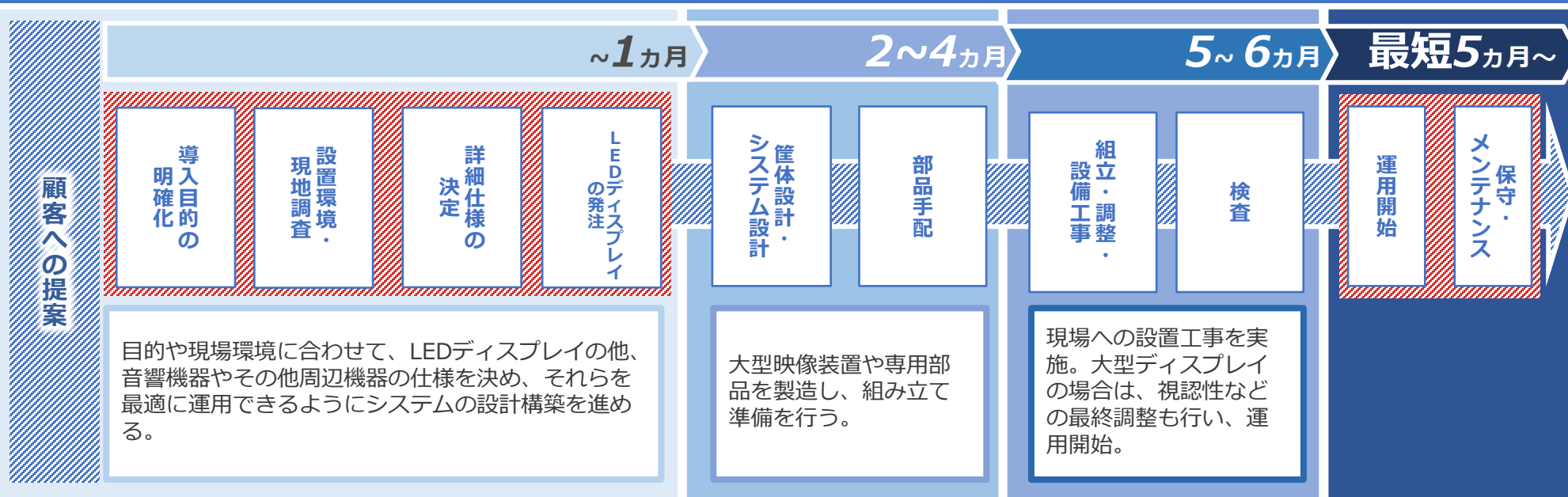
製品だけでなく総合的な提案力に定評のあるヒビノのLEDディスプレイ

本書で紹介したポイントを押さえて提案・納入できるのが、ヒビノのLEDディスプレイです。豊富なバリエーションがあり、空間演出や屋外広告などさまざまな用途で導入されています。

ヒビノは映像送出装置であるコントローラを自社開発しているため、入カソースからコントローラ、LEDディスプレイまで提案・納入しており、LEDディスプレイに関する内容をトータルでサポート可能です。

初期段階から設計協力の為、現地調査、各種作図・お打ち合わせ・調整に同席し、エンドクライアントの導入目的にあったLEDディスプレイおよび周辺機器を提案・納入いたします。

LEDディスプレイの提案から納入まで、トータルでサポート



豊富な納入実績に裏付けされた現地調査を含む提案力と柔軟な保守・メンテナンス

ヒビノの保守は柔軟な対応が可能！

十分な打ち合わせを行なってLEDディスプレイの設置をしたとしても、不測の事態により、故障やトラブルが発生する可能性は十分にあります。

ヒビノでは、LEDディスプレイを安心して運用いただけるように充実した保守対応を提供しています。

ヒビノの充実した保守対応

1

保証期間

LEDディスプレイ本体に不具合が発生した場合、保証期間である1年間は無償サポートを実施。

2

サポート体制

LEDディスプレイは店頭や商業ビルなど様々な施設で活用されている。そのため、平日だけでなく、土日や祝日などでもサポート対応可能。要望に応じて24時間365日での対応も可能。

3

対処時間

故障をはじめとした緊急時、ディスプレイ関連の部品の在庫を多めに確保しているため、スピーディーな対応が可能。

4

周辺機器

LEDディスプレイはイベントなどでも利用され、その際には音響や周辺機器も利用される。ディスプレイ以外の周辺機器の取り扱いがある場合はプッシュすべきポイント。

5

その他

その他、映像送出機器の故障にもサポート対応が可能。

担当者情報



ヒビノ株式会社
ヒビノクロマテックDiv. LEDソリューション部

下公 龍彦 または 平子 了一



お問い合わせ電話番号

03-5419-1607



お問い合わせメールアドレス

hp_crm_led@ml.hibino.co.jp

企業情報



ヒビノ株式会社 **HIBINO** ヒビノクロマテック Div.

住所：〒105-0022
東京都港区海岸2丁目7番70ヒビノ日の出ビル
HP：<https://chromatek.hibino.co.jp/>